

1 実施の願い

1996年より始まった「帰敬式実践運動」は、現在に至るまで全ての教化事業に通底する基本の施策として位置づけられ、一人でも多くの方に「本願念仏に生きる人の誕生」の第一歩として、真宗門徒の自覚と実践を深めつつ、寺院と門徒の本来的なつながりが構築されることを願い、全ての門徒が帰敬式を受式することを目指しています。

教区教化委員会では、上記の願いを受けて、2006年度に策定した東京教区帰敬式実践運動計画をもとに、

- ①教区報恩講（教区お待ち受け法要・教区御遠忌法要）における帰敬式執行
- ②教区住職総合研修において、帰敬式と帰依三宝の意義を確かめ、帰敬式の執行方法を研修
- ③組育成員研修・組門徒会研修にて「帰敬式の意義 ～帰依三宝の生活～」をテーマに開催していただくよう各組に依頼

上記の施策に取り組んでまいりました。

その結果、各寺院における帰敬式の執行につながり、多くの方々が仏弟子として歩み出されたことでもあります。しかし、近年は、教区報恩講における帰敬式受式者数の減少や、各寺院における帰敬式の執行についても、継続的に執行している寺院はあるものの、新たに帰敬式執行に取り組む寺院は減少している状況がみられます。

そのような中、2023年に宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要をお迎えするにあたり、本山団体参拝等のあらゆる機会にご門徒へ帰敬式を受式を呼びかけるとともに、僧侶の方々に帰敬式受式の意義を再確認していただき、法名を名告り、仏弟子として歩む自覚に立っていただくことを願いに、教区慶讃事業として「帰敬式法座」を実施いたします。

※「帰敬式法座」は「推進員養成講座」ではありません。

2 帰敬式法座の趣旨

「帰敬式法座」は、ご門徒の帰敬式受式に至る学びの場として、また既に帰敬式を受式されている方の更なる聞法の間場として、仏弟子としての学び・歩みだしの機縁となることを願って実施いたします。

様々なきっかけでお寺にご縁を持たれる方々に、本法座を通して、真宗の生活を習い、ともに門徒になっていただくこと、さらには僧侶と門徒がともに「仏弟子」として聞法し、ともに歩む中で、各寺院における「同朋の会」の結成・充実、報恩講・子ども会をはじめとした聞法の間づくりを共創していく場となることを目指してまいります。

なお、このたびの法座は、全4回の日程で、4回目に帰敬式を受式する流れになります。帰敬式受式について、基本的には教区報恩講で受式いただくことを計画しておりますが、慶讃法要団体参拝や、各寺院での受式も想定しておりますので、状況に合わせて受式の期日や場所をお考えいただき、執行日や執行後に4回目の講義を受講下さい。

また、本法座は、帰敬式受式を参加条件とはいたしておりません。ご門徒に帰敬式を知っていただく機会や、受式を悩まれておられる方への法座としてもお声掛け下さい。講義はライブ配信だけでなく、録画を配信いたしますので、後日、各寺院で視聴する場を設けるなど、様々な場でご聴聞いただけるよう願っております。

3 帰敬式法座実施要項

- (1) テーマ 「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」
- (2) 講師 今泉 温資 (いまいずみ としし) 氏《地域同朋の会 往生人舎主宰》
- (3) 日時 <第1回>2022年 8月29日(月) 14:00～「今 聞く 浄土真宗」
<第2回>2022年10月25日(火) 14:00～「今 出遇う 親鸞聖人」
<第3回>2022年12月 6日(火) 14:00～「今 名告る 法名」
<第4回>2023年 1月26日(木) 13:30～「今 帰敬式を受式して」
※<第4回>は、帰敬式受式日となり、真宗会館来館者が対象となりますので、各寺院での執行の場合、帰敬式を執行後、録画配信を受講ください。
- (4) 会場 東本願寺「真宗会館」・サテライト会場(本願寺横浜別院・甲府別院光澤寺)・各会場(寺院・教会)
※YouTubeでのライブ配信を行います。
- (5) 受講対象 帰敬式未受式の門徒
※既に帰敬式を受式されている方も参加いただけます。
- (6) 募集定員 50名(真宗会館来館者) 30名(本願寺横浜別院来館者)
15名(甲府別院光澤寺来館者)
- (7) 参加費 無料(帰敬式受式には、別途受式礼金がかかります)
- (8) 参加方法 ①東本願寺「真宗会館」にて参加
②サテライト会場(横浜別院・甲府別院)にて参加【ライブ配信を視聴】
③各寺院・教会(数カ寺単位でも可)から参加【ライブ配信・録画を視聴】
※③の参加方法について、上記期日にご都合がつかない場合は、ご都合の良い期日に、講義の録画配信(各回終了後、東京教区のYouTubeチャンネルにアップロード)をご視聴いただくことができます。
- (9) 基本日程 <第1回～第3回>
14:00 開会 勤行・挨拶・帰敬式を受式された門徒による感話
14:30 講義(40分程度)
～以後の日程は、各会場でご検討ください～
(例)
15:30 座談・勤行練習・真宗門徒の生活実践のための宣誓文作成 等
16:30 閉会
<第4回>
教区報恩講帰敬式にて受式希望の場合は、別途ご案内いたします。
- (10) 帰敬式受式 帰敬式を受式については、以下の方途からお選びください。
①教区報恩講帰敬式で、鍵役執行による受式【2023年1月26日(木)】
※詳細については、別途ご案内いたします。
②組単位(複数寺院合同)、または各寺院・教会で住職執行による受式
参考: 宗派ホームページで、寺院・教会での帰敬式執行の事務手続きの流れが掲載されておりますので、ご確認ください。また、帰敬式執行時に便利な各種雛形をダウンロードできますので、帰敬式を執行する際にご活用ください。

<https://www.higashihonganji.or.jp/ohtaniha/kyouka/>



- ③慶讃法要団体参拝の際、真宗本廟にて鍵役執行による受式
- ④真宗本廟奉仕や一日参拝で、真宗本廟にて鍵役執行による受式

(11) 実施事例

- <例①> 第1回～第3回 真宗会館にて受講
↓
第4回 教区報恩講（真宗会館）にて帰敬式受式
- <例②> 第1回～第3回 各寺院や別院でライブ（録画）配信を受講
↓
第4回 教区報恩講（真宗会館）にて帰敬式受式
- <例③> 第1回～第3回 各寺院や別院でライブ（録画）配信を受講
↓
慶讃法要団体参拝（真宗本廟）にて帰敬式受式
↓
第4回 各寺院にて録画配信を受講
- <例④> 第1回～第3回 各寺院や別院でライブ（録画）配信を受講
↓
各寺院にて住職執行による帰敬式受式
↓
第4回 各寺院にて録画配信を受講（受式当日、または別日）

など様々な形が考えられます。録画配信の視聴もできますので、期日・場所は各寺院の状況に合わせてお考え下さい。

※別紙「帰敬式法座 実施事例チャート」をご参照ください。

(12) 申込方法

別紙「申込書」に必要事項をご記入いただき、東京教務所まで、FAX で送信いただくか、ウェブサイトよりお申し込み下さい。

なお、真宗会館に来館または、各サテライト会場での参加をご希望の方は、**8月19日(金)まで**にお申し込みください。

【参加申込みフォーム】 <https://bit.ly/3wXM7rD>



(13) その他

①アーカイブ（ライブ配信の録画記録）については、教区ホームページ「東京教区からのお知らせ」欄をご確認ください。

【教区 HP】 <http://www.ji-n.net/index.cgi>



②各寺院・教会（数カ寺単位）での開催をお考えの場合は、東京教務所までご連絡ください。また、奨励用チラシ雛形（Wordデータ）を準備しておりますので、必要な場合はデータをお送りします。

③法座の内容や帰敬式の執行方法について、ご不明なことがございましたら、東京教務所（担当：佐々木・渡邊楽・海）までご連絡ください。

<東京教務所>

〒177-0032 東京都練馬区谷原 1-3-7

TEL : 03-5393-0810 FAX : 03-5393-0814

E-mail : tokyo@higashihonganji.or.jp



4 実施後の取り組みについて

法座終了後には、帰敬式法座受講者が、あらためて自分自身の日常を見直し、真宗門徒としての生活を歩んでいかれますように、以下の点をご留意いただき、各現場において「同朋の会」や報恩講などの場で継続的に聞法していただけるようなアフターフォローについてもお考えください。

(1) 本尊を中心とした生活を始めましょう【礼拝の生活】

お内仏のある生活を始めていただくため、三つ折り本尊や額装本尊など、それぞれの家のつくりに応じた御本尊の安置を勧める。

(2) 教えを聞き、自分を語れる場を持ちましょう【聞法の生活】

同朋の会の設置や充実、また、あらたにお寺を開き人が集う場への取り組みを奨励する。

(3) 報恩講に参詣しましょう【正信の生活】

同じ教えを聞く朋と共に、宗祖親鸞聖人に人生を学ぶ門徒であることを確かめる。

※一日一度のお内仏。月に一度の聞法会。年に一度の報恩講。

(4) 念仏申す生活を確かめましょう【真宗本廟奉仕】

宗祖親鸞聖人の御真影の前に身を据えて、改めて我が身を振り返り、大切なことを確かめ合う。